

令和3年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「家庭基礎（自立・共生・創造）」（東京書籍出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・自分の生活を支えている家庭や家族に目を向け、興味・関心を持ちましょう。
- ・家庭生活は社会と密接に関わって運営されています。そのため、家庭科の各分野の学習は社会と深く結びついています。家庭や家族、および社会に対して理解を深め、知識を持ち、また、実践的・体験的な学習を通し、生活に必要な知識・技術を身につけよう。
- ・学んだことを基礎にしてよりよい生活を目指します。

2 学習の到達目標

- ・人の一生と家族・家庭および衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ・学習した知識や技術を活用し、家族や家庭の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
- ・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
- ・将来、自分の人生や家族のビジョンをしっかりと持つ。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を見に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて関する基礎的・基本的な技術を見に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて関する基礎的・基本的な知識を見に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 ワークシート 持ち物チェック 発表	学習状況の観察 プリントの記述 ワークシート 発表 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 製作品 実技テストの結果 自己評価 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 実習記録 小テストの結果 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	第1章自分らしい人生をつくる	(始めに)家庭科の学び方 1 生涯発達の視点 2 青年期の課題 3 人生をつくる	○	○	○	○	a: 学習内容について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 課題を見だし、その解決を目指して考え、表現している。	授業観察 プリント ワークシート 発表 定期考査
		4 家族・家庭を見つめる 5 これからの家庭生活と社会	○	○		○	c: 事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d: 学習内容について、自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	
	第3章高齢社会を生きる	1 高齢期を理解する 2 これからの高齢者	○	○		○	a: 高齢者の生活について関心を持ち、高齢者の生活について考えようとしている。 b: 日本の社会における高齢者の課題を見だし、考え、表現している。 d: 高齢者の生活について理解し、高齢者に対して思いやり持って接することの大切さを理解している。	
	第6章衣生活をつくる	1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 布を用いた生活の知恵	○	○	○	○	a: 健康で快適な衣生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 衣生活について課題を見だし、その解決を目指して考え、適切に判断し、表現している。 c: 手縫い・ミシン縫い・アイロンがけ等の技術を身に付けて、健康で快適な衣生活営むことができる。 d: 衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	小テスト 実技テスト 製作品 定期考査

1 学 期		ホームプロジェクトと学校家庭 クラブ	○	○	○		夏休みの宿題として2学期に 提出。自分の家庭生活の問題点 や学校生活の問題点(皆で取り 組むべき問題点)などを考えさ せ、改善策の提示と実施出来る 問題ならば実施まで行いレポ ートとして提出させる。	レポート
2 学 期	第8章 経済生活を営む	1 職業生活を設計する 2 国民経済・国際経済と家庭 の経済生活 3 現代の消費社会 4 消費者の権利と責任	○	○	○	○	a: お金(収入と支出)について 関心を持ち、将来の職業生活を 真剣に考えようとしている。 b: 現代の消費社会の仕組みに ついて考え自分の身に置き換 えて考察、工夫している。 c: 契約の重要性を理解する。 d: 家庭経済と国民経済の関わ り、家計の管理や消費者問題現 状を理解し、消費者の権利と責 任を身に付ける。	授業観察 プリント 定期考査
	第5章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考え る 2 食事と栄養・食品 3 食生活の安全と衛生 4 生涯の健康を見通した食事 計画 5 調理実習 (2学期を通して行う)	○	○	○	○	a: 健康に配慮した食生活に関 心を持ち、意欲的に学習に取り 組もうとしている。 b: 自分の食生活の課題を見い だし、その解決を目指して考 え、適切に判断し表現してい る。 c: 健康で安全に配慮した食生 活を営むための技術を調理実 習を通して身に付けている。 d: 健康で安全な食生活を主体 的に営むために必要な知識を 身に付けている。	授業観察 プリント 実習レポート 定期考査 持ち物点検

3 学期	第2章 子どもと共に育つ	1 子どもの育つ力を知る 2 親として共に育つ (ビデオ視聴) 3 これからの保育環境	○	○	○	○	a:子どもや子どもを取り巻く環境について関心を持ち、親や家族の果たす役割を考えようとしている。 b:子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え課題を見だし、まとめ、発表したりしている。 c:子育てにおける課題などについて情報を収集したり、調査することができる。 d:子どもと関わるためのに必要な知識や理解を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 発表 定期考査
---------	-----------------	--	---	---	---	---	---	--------------------------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。